



2019-20 年度 山形南ロータリークラブ会長方針

# 「ふるさと・発信・リターン」

ふるさとの良さを見直し、全国に発信、そしてリターン(還元)

# 山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT2800



RI会長：マーク・ダニエル・マローニー 2800地区ガバナー：大久保 章宏 ガバナー補佐：小松 幸弘

会長：青山 治右衛門 幹事：佐藤 直人 会報・史料委員会 委員長：石山 祐介

委員：金田 亮一 斎藤 伸治 遠藤 幸司 鈴木 崇弘 佐々木啓亮

## 第2257回例会

2019-7/2(火) 天気(晴れ)

□例会場：ホテルキャッスル

□点 鐘：PM 12:30 青山 治右衛門 会長

□司会進行 (SAA)：浅野 裕幸 君

□ロータリーソング：「国歌」「四つのテスト」

### 会長挨拶



今年度、山形南ロータリークラブ第49代の会長を拝命しました青山治右衛門でございます。来年、クラブ創設50年を迎える大変歴史あるクラブの会長職をお引き受け致しましたが、改めてその重みと重責に身の引き締まる想いでございます。因みに、本年は令和元年の大変お目出たい年で、元年にスタート出来る廻り合わせの幸せを感じている毎日です。

私自身、2002年7月に南クラブへ入会させていただき、色々の役職を務

### — 会長方針発表 —

めたはずですが、部分部分でロータリーは理解したと思っておりましたが、会長の立場でロータリーを考えますと、「ロータリーとは何ぞや」から始まり、このままではクラブにも会員の皆様にもいろいろな面でご迷惑をお掛けするのではないだろうかと危惧しました。その結果、「ロータリーを一から勉強する他にない」と覚悟を決めた次第でございます。それにつけても、会員皆様のご支援ご協力ご鞭撻をいただかなければ何も出来ません。何卒宜しくお願い申し上げます。一年後には、会長をお引き受けて良かったとの席で皆様に報告出来ます事を祈念し、会長ファーストの挨拶と致します。この一年宜しくお引き廻し下さいませ。

### 幹事報告

佐藤 直人 幹事

- 本日より1年間、幹事を務めさせていただきます 佐藤でございます。幹事は初めてで、不慣れな点が多々あるかと思いますが、一生懸命幹事の仕事をさせていただきますので、皆様からのご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。
- 1.今年度の年次計画書をBOXに入れていただきました。誤字脱字等ございましたらご容赦いただき、後に報告書と一緒に製本版を作成する際に訂正させていただきますので、よろしくお願いたします。
  - 2.毎年恒例となっております、中津ロータリークラブへのサクランボ・佐藤錦を6月に10キ口郵送いたしました。また、中津RC地区大会訪問のご案内をBOXに入れていただきました。多数のご参加をお願いいたします。
  - 3.来週から始まる、委員会活動計画発表ですが、もし委員長が欠席の場合は、必ず代理の方が発表してくださいようお願いいたします。
  - 4.今週の7月6日(出)に、天童ホテルにて、米山奨学セミナーが開催されます。当クラブからは、青山会長と私と川合米山奨学会委員長と菊地会長工レトの4名で参加してまいります。
  - 5.7月のロータリーレートは、1ドル=108円となっております。
  - 6.本日の例会終了後に、7月度の理事会を開催いたしますので、理事の方は、お残りください。

### 委員会報告

親睦活動委員会 丹野 善将 君

7月の誕生日は、土田貴英君、木村政則君、中村 篤君の3名の方です。おめでとうございます。

姉妹クラブ小委員会 宮館 順治 君

中津ロータリークラブ地区大会への参加申込み7月9日までの提出となっております。多くの会員の方の参加宜しくお願いたします。

ロータリーの友地区委員 谷口 義洋 君

ロータリーの友をご愛読お願いたします。



米山奨学生コウ・シンさんに奨学金の贈呈

### ニコニコBOX 長沢 一好 君

- 青山治右衛門君 一年間よろしくお願いたします。
- 佐藤 直人君 一年間よろしくお願いたします。
- 宮館 順治君 中津へ皆さんご参加宜しくお願いたします。
- 菊地 實治君 一年間よろしくお願いたします。
- 中村 篤君 誕生日ありがとうございます。
- 鈴木 正則君 一年間よろしくお願いたします。
- 鉄 浩二君 一年間よろしくお願いたします。妻の誕生日ありがとうございます。
- 熊谷 昌和君 長男が漫画を書いています。著作のある立場で活躍しています。
- 金子 靖二君 一年間ありがとうございます。
- 三澤 寛君 一年間ありがとうございます。
- 武田寿美男君 一年間中長期検討いたします。
- 岡木野仁美君 一年間よろしくお願いたします。
- 大久保章宏君 昨日ガバナー会開催されました。一年間ご協力よろしくお願いたします。
- 浅野 裕幸君 一年間よろしくお願いたします。
- 長沢 一好君 一年間よろしくお願いたします。

### 本日の一言 石山祐介会報・史料小委員長

青山年度も各回皆様からテーマを決めて一言いただけます。どうぞご協力お願いたします。



### 7月度理事会報告

#### ◆協議事項

1. 山形イブニングRC創立20周年記念式典の案内について 会費は、5,000円とする。
2. 山形イブニングRC創立20周年記念ゴルフコンペの案内について任意参加とする。参加費は3,000円。
3. 8月20日の「納涼例会」の会費は、3,000円とする。
4. 日本のロータリー100周年記念ピンバッジを注文。

#### ◆報告事項

1. 上期年会費の納付書送付について 上期会費は、115,000円。7月1日の週に発送。
2. 7月6日(出)の米山奨学セミナーの出席者 青山、佐藤、川合、菊地の4名。
3. 中津RC地区大会出席のご案内をFAXさせていただきました。
4. 毎年恒例の中津RCへのサクランボを6月に10kg発送いたしました。

例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 事務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200

山形市内 例会日案内

月曜日

山形西 山形イブニング

火曜日

山形中央

水曜日

山形

木曜日

山形北

金曜日

山形東



山形南ロータリークラブ 第49代会長  
青山 治右衛門 君

## 「ふるさと.発信.リターン」 ふるさとの良さを見直し、全国に発信、そして還元(リターン)

温故知新という言葉があります。永年山形に住んでいながら、当たり前前としてとらえ、気が付かなかったふるさとの歴史文化、言葉、行事、食べ物などを改めて再発見し、全国へ発信、その事によって又山形へ何らかのリターン(還元)できるのではと考えております。幸い金子年度も“ふるさと”を基調に大きな成果を出された事は、ご承知の通りでございます。今年度は、“ふるさと”シリーズパートIIとして、以下の活動と大久保ガバナリーの行動スローガンである「一歩前に踏み出しましょう」の一つの具現化として会員増強を最重点課題として高く掲げ、2年後に迎えるクラブ50周年に向け山形南ロータリークラブの伝統と品格を伝えるクラブ作りを目指す所存でございます。是非、会員皆様のご協力ご支援をお願い致します。

### 重点目標

- ① 例会の充実  
年40回以上の例会を開催し、楽しく有意義な例会内容の充実を図り、例会の活性化をしていきます。
- ② 会員の増強  
山形南ロータリークラブ目標である60名体制の早期達成を目指して、活動していきます。
- ③ 親睦活動によるふるさとの見直し  
我々のふるさとである山形の文化をもう一度見直し、活用し、会員同士の親睦活動に活かしていきます。
- ④ 奉仕活動の強化  
元氣なクラブづくりのためには、奉仕活動が重要です。全会員が参加できるように奉仕活動を充実し推進していきます。

### 会長卓話

## “青山治右衛門”のルーツを辿る

青山 治右衛門 君

“治右衛門”という、今風の名前でなく古臭い名前を名乗っておりますが、今回会長をお引き受けした機会に、改めて名前のルーツを探って皆様にお話し、自己紹介に変えたらと考え、時間を取ってもらいました。

平成9年に父が亡くなり、今まで考えもしなかった“治右衛門”という代々の長男が継ぐべき襲名が現実となり、父の1周忌に合わせて裁判所の許可を得て、正式に平成10年に“治右衛門”を襲名しました。早速、市役所へ父から受け継いだ代々の当主が使用していた(もとより江戸時代の書面にも残っている)実印の登録に出かけましたが、「何と読むのか。」とか、「敬寛(ヨシヒロ)とも読める。あなたはヨシヒロさんですか。」とか問われ、結局、今の条例では実際の名字名前でないと、実印としては受け付けられないと言われ、代々の実印は使用できなくなりました。現在は、青山治右衛門の実印を使用しています。

ご承知のように、最上義光の時代57万石の大名になり徳川家より拝領した地域は、山形は基より置賜・庄内・秋田の一部を含め実質100万石の大大名になりました。義光が亡くなり、息子の時代にご多分に漏れず、家督をめぐるお家騒動があり、幕府からの処分で改易になり官宮13年1636年近江の大森に15,000石で流されました。以来、最上義光時代の57万石から幕末の水野家は5万石へと幕末まで10代の大名が変わり、山形は大名の流刑地のようにされ、お上(お殿様)には頼れないという風気が自然と生まれ、独立自尊の土地柄になり、商人の町になったのではと聞いております。関西からは北前船でいろいろな品物が山形に持ち込まれ、一緒に近江(滋賀県)から江州(伊勢)からの各商店の店出が、現在の七日町十日町の目抜き通りに軒を連ねたのでございます。江戸時代より継承している屋号は大坂屋と言ひ、大坂屋治右衛門とか大坂屋青山治右衛門と使い分けしておった事は、残っている看板・大福帳で解っております。大坂屋の名前の由来は、本家より分家した当時、大阪からの商人に(大坂屋)家紋の一部をその商人に貸してあり、その商人が大阪に帰ったので、そのまま屋号を引き継いだと聞いております。

菩提寺である常念寺にある総本家の墓石には青山三良右衛門・善左衛門との名前が残っており、寺の過去帳を見ると、総本家から享保年間(1716年)に初代の治右衛門が三ノ丸の東横口(現在の山形郵便中央局)へ分家したのが始まりとなっております。

最上家の街造りは、三ノ丸の外側の出口に“薬屋”を設けたと言われ、(三ノ丸の内側は家中衆といったお侍の住居)その東口(横町口…現在の山形中央郵便局～西に下がるとクラックになっている)で大坂屋治右衛門として江州より仕入れた漢方薬をメインに、山台白石和紙・曲物・古着などを取り扱っていたようです。その後、時代の変遷に伴い、一部紅花を扱ったりして、商いの内容も変え、山形商人として地元可愛がられて今日に至っており、私で14代目の治右衛門でございます。

大坂屋青山治右衛門の今までの足跡は、いろいろな文献や形として残っております

が、例えば安政年間“湯殿山道中絵図”や、“東商人鑑”とか、秋元藩の時代には、秋元藩が上州(群馬県)館林へ国替えになった折、秋元藩の勘定方山田家の奥様、山田音羽子さんが書いた、山形から館林までの道中記“お国替え絵巻”の中で、当時の大坂屋から何回もお見舞いや送別の宴を千歳山で設けてもらった事などが絵を交えて克明に書かれております。

その他、五代治右衛門治綱の時に庄内善宝寺へ北前舟の航海の安全を祈願した六尺の赤胴の燈籠を寄附したとか、平清水耕庵寺への子育地蔵尊、蔵王刈田神社や上山月岡神社への狛犬の寄贈とかで残っております。

お正月松の内まで、大坂屋では江戸時代から継承してきた“お得意繁盛”の掛軸を掲げております。自分の“商売繁盛”ではなく、お得意様の繁盛がひいては大坂屋の繁盛に繋がるのだとの意味だと思ひます。また、治右衛門中興の祖と言われる四代治右衛門四郎五郎、五代治右衛門治綱連名による家訓“永代条目”が残っており、内容は全く現代のビジネスに通じる考えが多々見受けられます。例えば、“木綿(墨染め)の着物を着なさい”とか、“贅沢はするな”品物は吟味し、なるべく安く売りたい”とか、“米商いには手を出すな”とか、これは、米は人の命に係わるもの、当山形はもちろん、京大阪・酒田、他どこでも決して売り買いしてはならぬと書かれております。又、毎日の一円五円の小さな儲けを大切にしなさいと言う事等を考えますと、今でも立派に通ずる事だと思ひます。

12代祖父からも“仕入れの支払いは毎月ゼロにしなさい”とか、“値段の交渉はやっても良いが決まったら一円の端数まできっちり払え”、“職人の手間は値切らず、逆に2割高く払え”等々、先人の教えに頭の下がる想いでございます。

明治27年の山形南の大火により、大坂屋も全焼してしまい、更地になっておった時、時の明治政府の方針で山形の中心に郵便本局を設置することになり、十日町一丁目角にあった大坂屋の角地が選定され、その時、土地の売却に協力、敷地の4分の3(約1000坪)を提供、残りの350坪の敷地で漢方薬販売から、明治27年、漢方薬を小分けする容器の製造に業務転換し、以来現在の商売のベースになっております。ただ、昭和51年に郵便番号の導入による自動選別機導入によりスペース確保が必要との、郵便局から要望もあり、又、時代の流れに伴う車両の一方通行、大型トラックの乗り入れ禁止等もあり、企業の今後を考え、再度敷地を郵便局に提供することになりました。先祖伝来の土地ではありましたが、“人間到る処青山(せいざん)あり”の気持ちで、現在の青田地区へ移ってきた訳でございます。今でも十日町の江戸時代からお付き合いしております方々とは、名字ではなく、お互い“大坂屋”とか、“ヤマジウさん”、“マルジウさん”、“マルタニさん”とマークや屋号で名乗りあっています。いろいろな意味で、私で14代続けてこられたのも、偏に先祖のお陰、仕入先、お客様、社員(社員の家族)、また世間様のお陰と肝に銘じておる次第でございます。

自分さえよければ、法に触れなければ、誰も見ていないから何をしても良いのではという考え方が聞こえてくる倫理観が少なくなった現在と言われますが、どんな時代でも絶対変えてはならない倫理観を持つことも大切ではないかと考えております。

15代を継ぐ後継者にも、七日町の大通りを天に向かって頭を上げて真っ直ぐに歩けるような、己に恥ずかしくない生き方をやろうと話し合っております。大坂屋経営理念にも“信用を大切に、顧客満足度120%を目指そう”と掲げてありますが、今後とも人と人との繋がり、自分より他人を大切にしよう家風社風を堅持する事が企業の永続に繋がるのではないのでしょうか。

### 本日出席・前回修正出席

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	56名		39名	
前回修正	55名	52名	48名	92.31%
他クラブで メークアップ された会員	(山形) 神崎 祐子 土肥 成二			

※本日の結果は2週間後に報告

※修正は2週間前の結果報告

出席会員数÷算出会員数=出席率

算出会員数とは?

出席義務会員+メイク免除会員の出席者

出席会員数とは?

出席義務会員の出席者+メイク免除会員の出席者+メイク会員